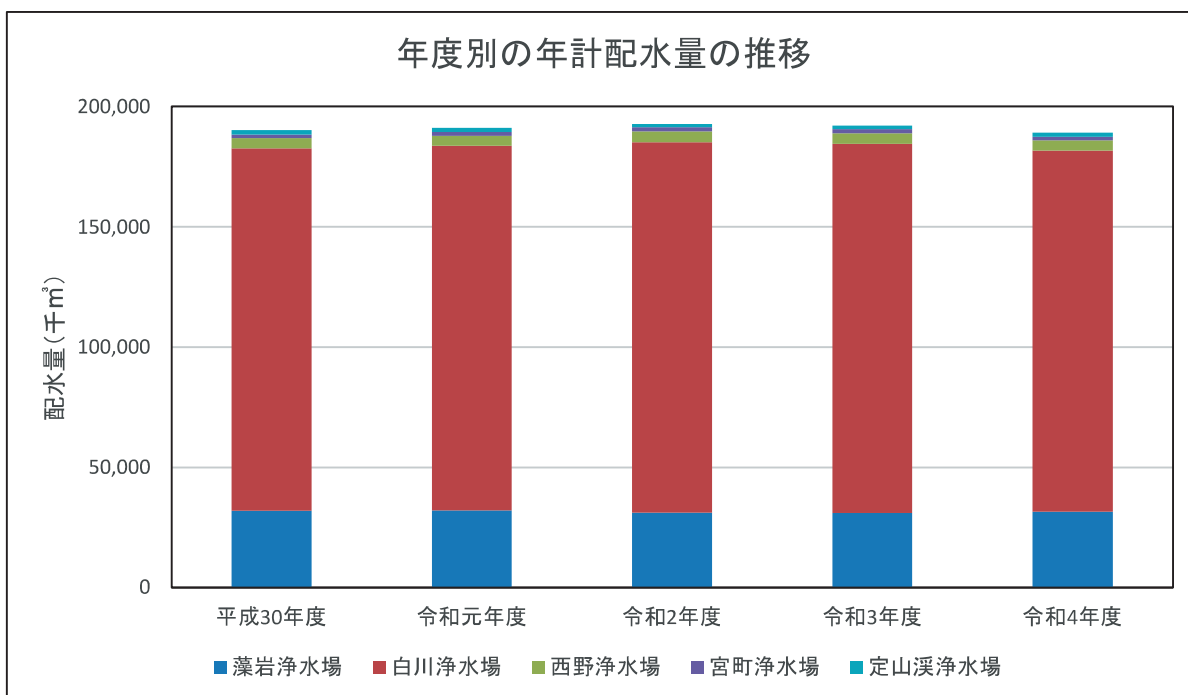


3 配水量の概要

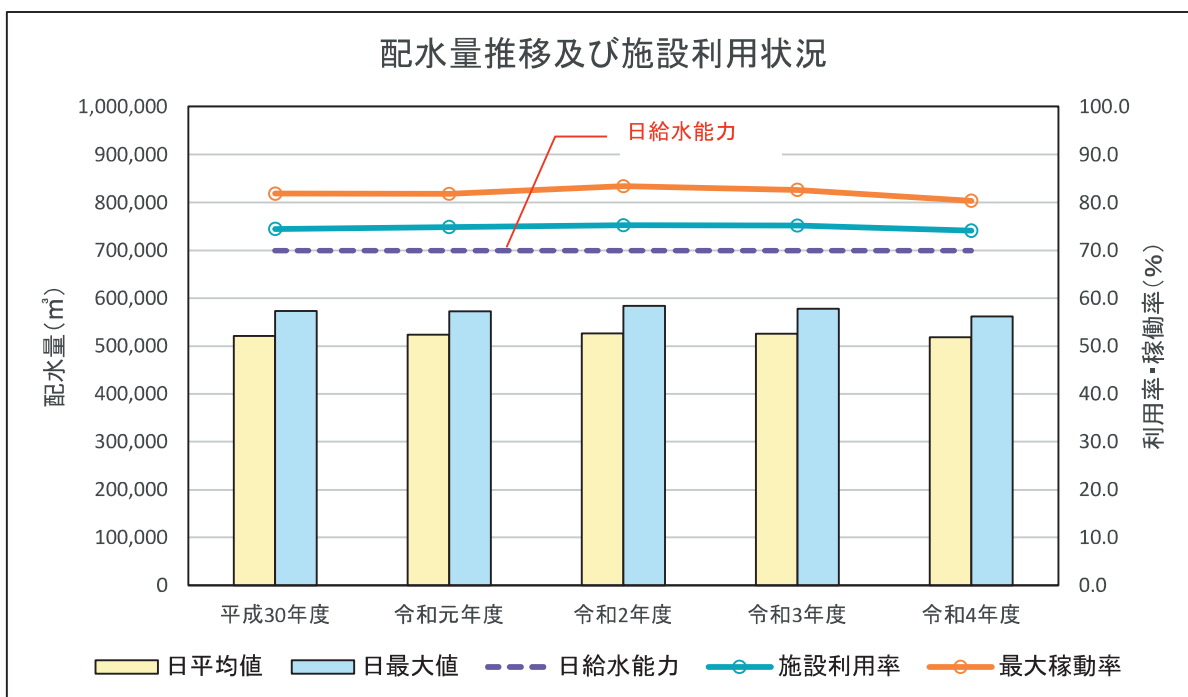
1 年度別の年計配水量の推移

令和4年度は直近5年の最大配水量だった令和2年度よりも約3,500m³の減となった。
 令和4年度の年間配水量の構成比率は、藻岩浄水場16.7%、白川浄水場79.3%、西野浄水場2.3%
 宮町浄水場0.8%、定山溪浄水場0.9%となっている。



2 年度別の1日最大配水量・1日平均配水量・施設利用状況

1日最大配水量は、平成30～令和4年度において60万m³を下回り、令和4年度は約56万2千m³であった。
 過去最大値は平成18年度の66万7千m³であり、令和4年度は平成18年度と比較すると、15.8%減であった。
 1日平均配水量は、平成30～令和4年度にかけて51万m³後半から52万m³台で推移している。

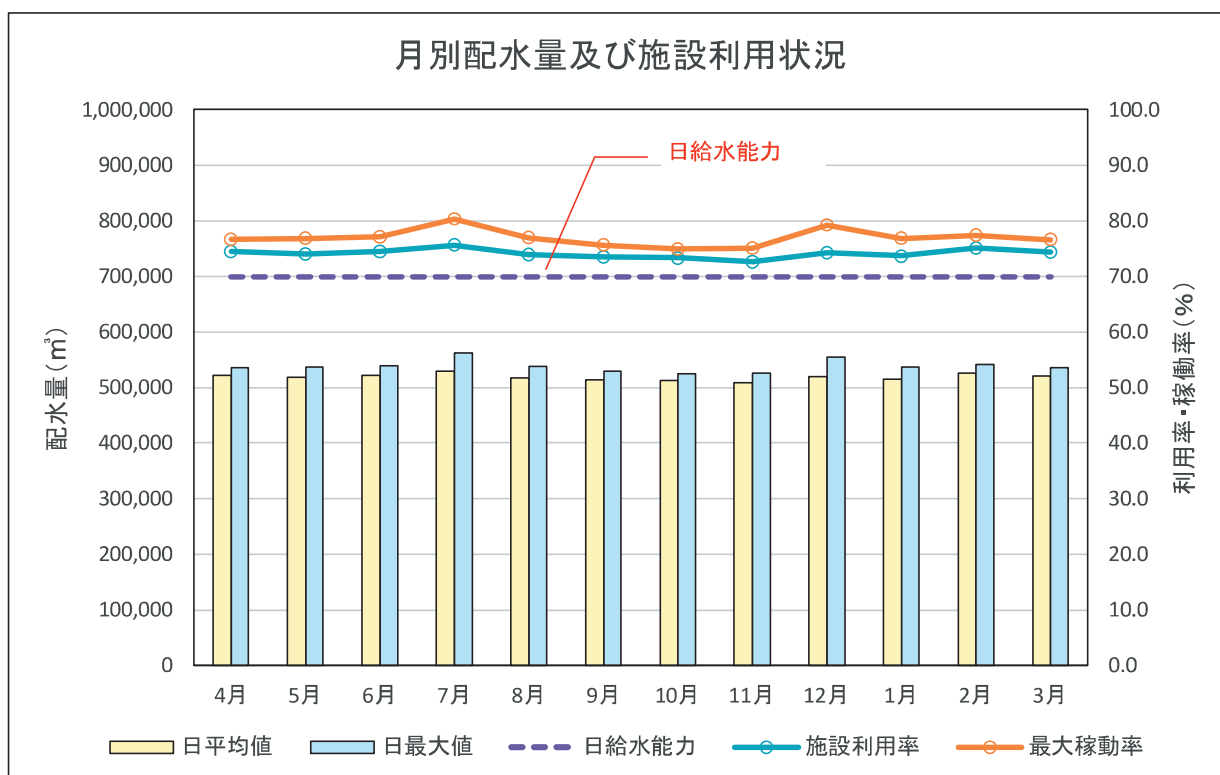


$$\text{施設利用率 (\%)} = \frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日給水能力}} \times 100 \quad \text{最大稼働率 (\%)} = \frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日給水能力}} \times 100$$

3 令和4年度の月別1日最大配水量・1日平均配水量・施設利用状況

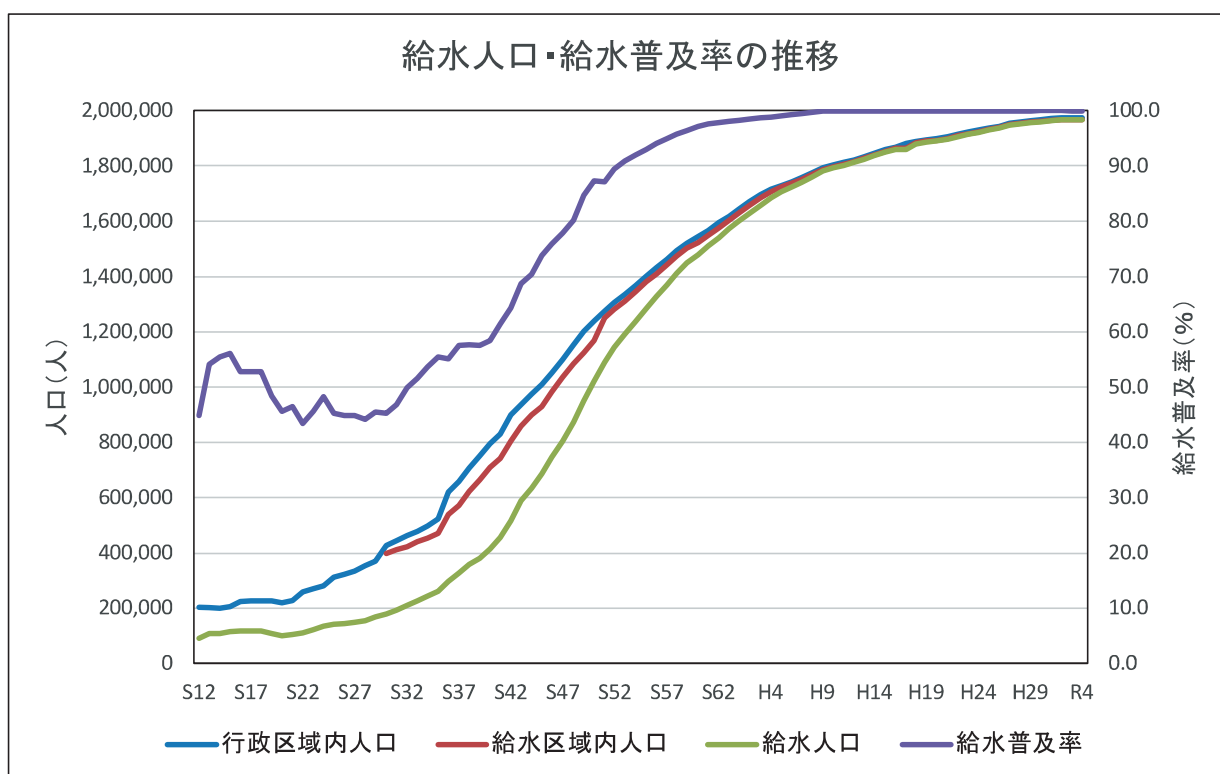
令和4年度の月別1日平均配水量は、7月に比較的高い傾向を示した。

それぞれの最大値は、1日最大配水量が56万2千 m^3 (7月)、1日平均配水量が52万9千 m^3 (7月)であった。



4 給水人口・給水普及率の推移

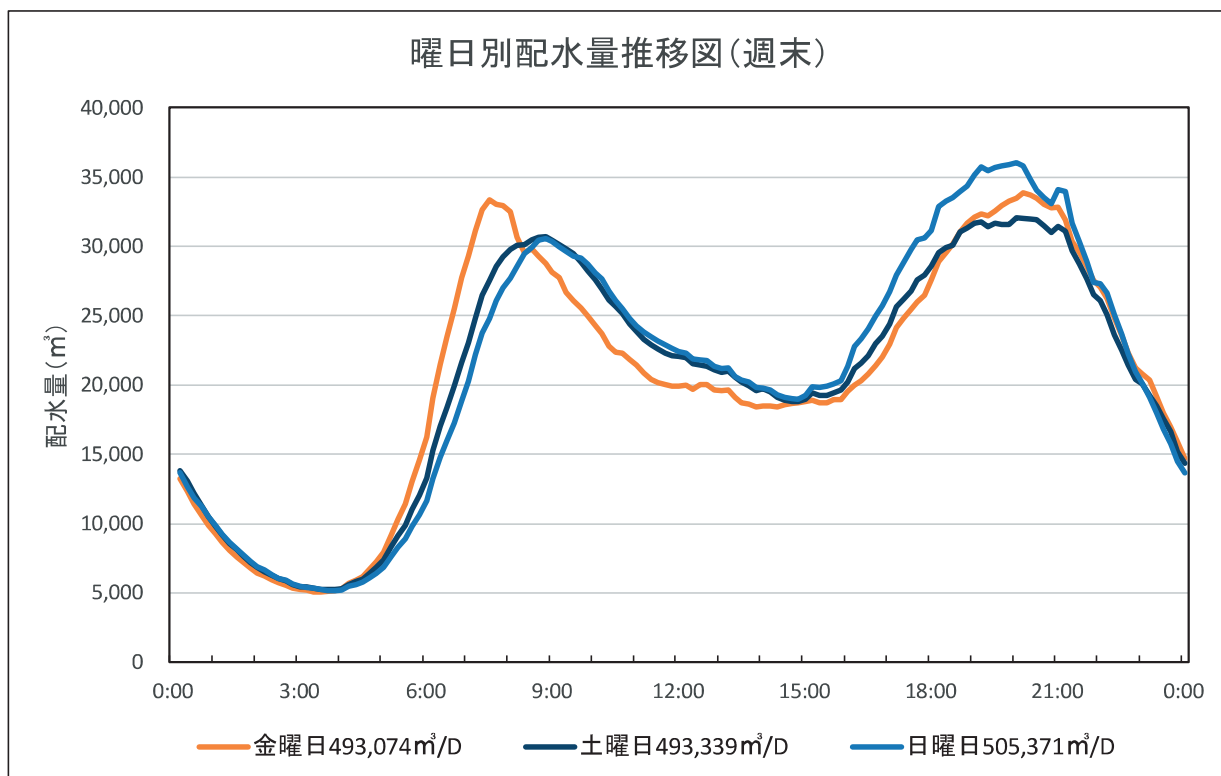
令和4年度の給水人口は約196万6千人となり、給水普及率は99.9%に達している。



$$\text{給水普及率}(\%) = \frac{\text{給水人口}}{\text{給水区域内人口}} \times 100$$

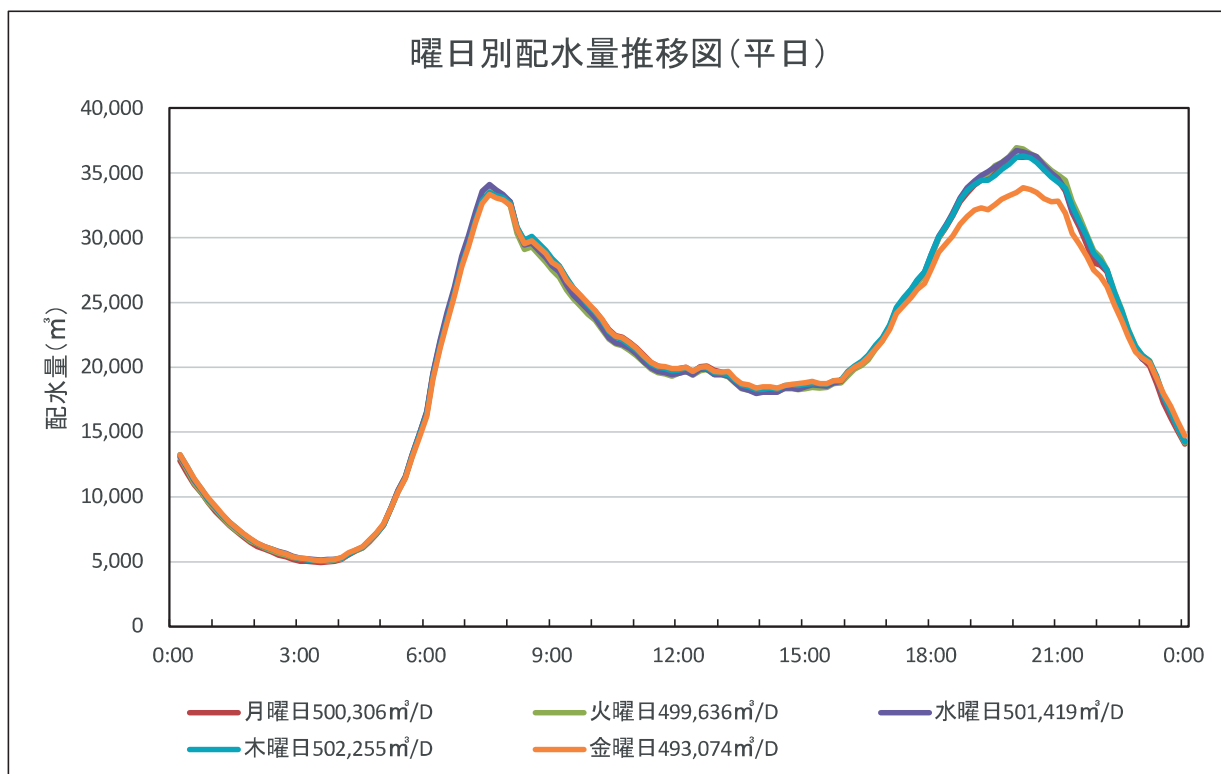
5 曜日別の配水量の推移(週末)

土曜日、日曜日は、金曜日と比較して午前の配水量ピークが約1時間遅い。
 日曜日は、16～24時までの積算配水量が、1週間の中で最も多い。



6 曜日別の配水量の推移(平日)

月～木曜日は、配水量の推移に大きな違いは見られない。
 金曜日は、16～24時までの積算配水量が、1週間の中で最も少ない。



7 特異日 サッカーワールドカップ 日本代表対クロアチア代表(2022年12月6日)

11月より開催された、サッカーワールドカップ。12月6日には日本代表対クロアチア代表の試合がおこなわれた。試合は24:00~3:00で開催、配水量は、ハーフタイムや延長戦突入前に配水量の増減がみられた。試合終了後では配水量の増加がみられ最大約4,000m³の配水量差となり、視聴による影響がみられた。

